

『石はなにからできている?』

川崎市立鷺沼小学校二年 小林 遥仁

こぼやし

はるひと

ぼくは、小さいころから石がすきなもので、この本をえらびました。

石はすきでしたが、「どうやってできているのだろうか?」「どこから来た石なのだろうか?」と考えたことはありませんでした。

この本を読んで、石はおもに四つのものからできていることがわかりました。①マグマ②サンゴしよう③どろ④すな、です。

その中でぼくが1ばんおどろいたのは、サンゴがしんで海のそこにしずみ、そのからがかたまつて石になるということです。とてもふしぎだと思いました。

そこでさっそく、お父さんとお母さんに「石はなにからできているでしょう?」ともんだいをだしました。なかなか「サンゴしよう」というこたえが出ず、ぼくがこたえを言ったら、とてもおどろいていました。

みぢかな石がもしかしたら何千年も前にできたのかもしれないと思うとドキドキします。このロマンをみんなにも伝えたいです。